

3アマeラーニングの受講体験記

Nさん（20代女性、茨城県在住）

この度、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会（JARL）による第3級アマチュア無線技士の養成課程（eラーニング標準コース）を受講して、無線従事者の資格を取得することができました。アマチュア無線の資格に初めて挑戦する私でしたが、講習会場に足を運ぶことなく、都合が良い時間に自宅でパソコンを使って勉強して、直接3アマの資格を取得することができましたので、その様子を簡単にご紹介いたします。

今回受講することとした最大のきっかけは、この4月から第3級アマチュア無線技士の養成課程（eラーニング標準コース）が開講されたことです。

私の父は第1級アマチュア無線技士で、50Wの移動局と、自宅にタワーを建てて1kWの固定局でアマチュア無線を楽しんでいます。私が小さい頃から、国内外の各地、特に外国と英語で楽しそうに会話をしている姿を見ていたので、大学に入学後、私もやってみたいと思うようになりました。

平成29年になって間もない頃、父から「モールス符号さえ覚えれば、4アマを飛ばして直接3アマの資格を取得できるぞ。そうすれば、お父さんの50Wの移動局の無線設備を親子で共用できる。電波の状態が良ければ、外国とも交信できるぞ。」と言われました。

そこで、3アマの国家試験を受験することも考えましたが、初心者の私としては、まず4アマの講習会を受講して、それに引き続いて、3アマの短縮コースを受講したいと考えていました。

春休みに入った平成29年2月にパソコンのソフトを利用してモールス符号を覚えたので、3月に開催される講習会に参加することを検討していました。そのような状況の中、たまたまJARLのホームページを見ていたら、4月から3アマのeラーニング標準コースが開設されることを知りました。

講習会の受講には自宅から講習会場まで通う必要がありますが、eラーニングはその必要がなく自宅での受講が可能です。修了試験だけはテストセンターで受験する必要がありますが、自分の都合が良い日時と会場を選ぶことができるので、当初の予定より1ヶ月遅れになりますが、迷わずにeラーニ

ングを受講することに決めました。

受講までの手続きは、JARDのホームページに詳しく案内されていたので、特に不安に思うことなどはありませんでした。ホームページから受講申し込みをした数日後には教科書と詳細な受講案内が送られてきました。

講座については、全くの初心者でも安心して取り組むことができました。法規、無線工学とも四つのブロックに分かれており、電子テキストの内容を勉強した後、演習問題と中間試験によって理解度を確認しながら学習を進めました。良く分からないところは、FAQを確認したり、映像補助教材を視聴して理解を深めました。私は利用しませんでした。質問窓口を利用して、直接質問することも可能になっていました。

学習システムの操作は、特に難しいところはありませんでした。最初だけ、一番目の項目の学習が終わった後に元のページに戻る方法が分からなくて、少し迷いました。受講マニュアルを良く確認したら、左上の「戻る」ボタンは使用せず、電子テキストの右上にある「×」ボタンで画面を閉じる必要があることが記載されており、それが分かってからはスムーズに学習することができました。

eラーニングの最後に自宅のパソコンで判定試験を受けたところ、無事合格しました。ここまで約3週間、土日を中心に集中的に取り組みました。でもまだこれで修了ではありません。最後に外部のテストセンターで修了試験を受験する必要があります。

自宅の近くのテストセンターで修了試験を受験したいと思ったのですが、自宅近くのテストセンターでの試験実施日は、あいにく翌月まで全て満席でした。そのため、ほぼ毎日試験が実施されている秋葉原のテストセンターの申し込み状況を調べたところ、1週間後の日曜日に受験が可能でしたので、その会場での受験を申請しました。自分の都合に合わせて、インターネットで受験日時や会場を簡単に選択して予約できたので、本当に便利だと思いました。

私が受験したテストセンターは、雑居ビルの3階にあり、よく見ないと入り口が分かりづらい場所にありました。中に入ると、受付ロビーの奥に、パーティションで仕切られた30名程度の個人用受験ブースが見えました。

会場に持ち込めるのは、本人確認証（運転免許証など）、会場の係員から渡された計算用のメモ用紙とボールペンだけでした。本人確認証以外の私物は

全て持ち込み禁止で、腕時計も外さないといけませんでした。持ち込み禁止の私物は、受付ロビーにあるロッカーに預ける必要がありました。不正防止のためでしょうか、この点は徹底していました。

修了試験は、中間試験や判定試験でやったことがある問題と同程度のレベルの問題が出題されました。全く同じではありませんでしたが、中間試験や判定試験などの内容をきちんと理解していれば、合格することができると思います。試験時間は60分ですが、問題を解き終われば途中退室が可能でした。個人用受験ブースには呼び出しブザーのボタンが置いてあり、途中退室する際は、そのボタンで係員に知らせるようになっていました。

修了試験を受験した数日後、JARADから封書で合格通知書が届きました。とても嬉しかったです。総合通信局に無線従事者免許申請書を提出済みとのことであり、間もなく免許証が届く予定です。免許証が届いたら、早速開局申請して、自分のコールサインを手に入れたいと思っています。どんなコールサインになるか、とても楽しみです。

無線局の免許が下りたら、最初はVHF・UHFのFMで少し練習したいと思っています。近所の山に登り、そこから遠くへ電波を飛ばしてみたいです。FMの運用に慣れたら、HF帯のSSBやせっかく覚えたモールス符号で国内外の各地と交信してみたいです。D-STARにも挑戦する予定です。一番の目標は、父のように英語で外国と交信することです。

大学の勉強が忙しいため、当分は3アマで満足しそうですが、将来的には、ぜひ2アマを取得して、父の100Wの無線機も使わせてもらいたいと考えています。その際はJARADのeラーニングを利用して頑張りたいと思います。

これまで時間や距離の関係で講習会を受講することができなかった皆様に、eラーニングの受講をお勧めいたします。ぜひご検討ください。